

経営比較分析表（令和3年度決算）

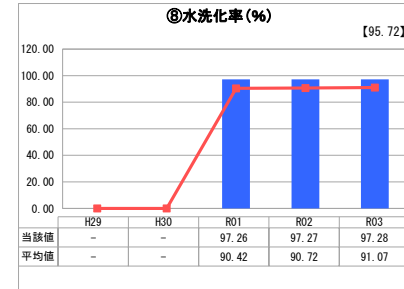
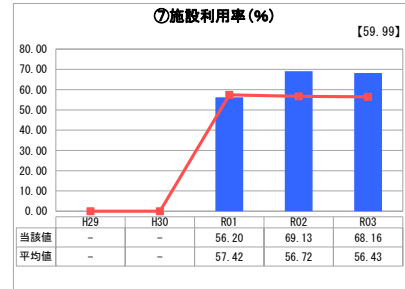
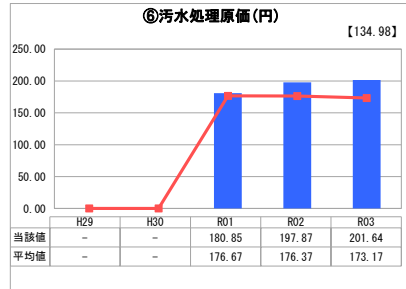
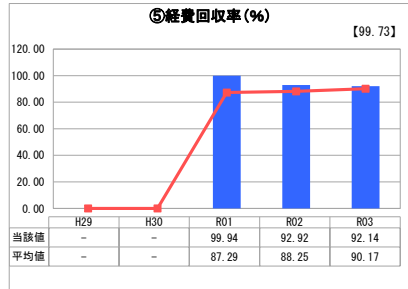
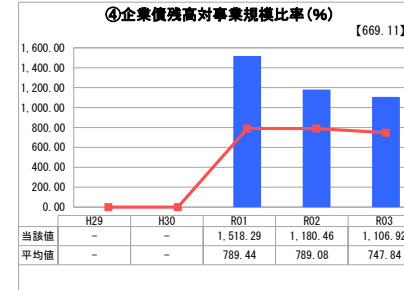
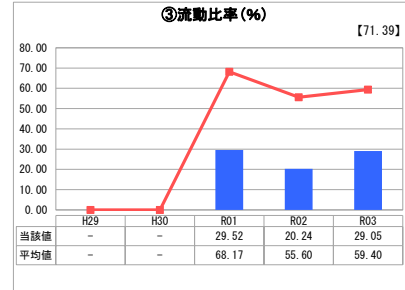
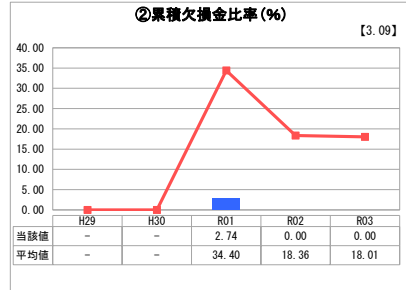
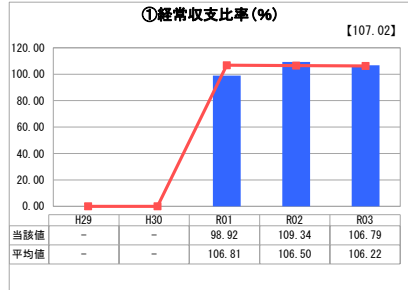
佐賀県 伊万里市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	58.09	56.29	81.26	3,480

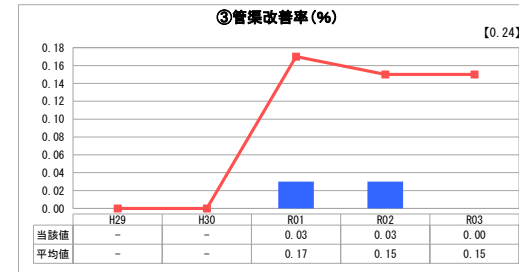
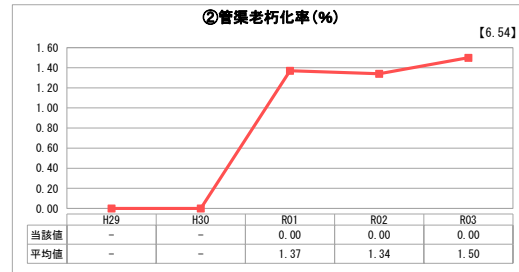
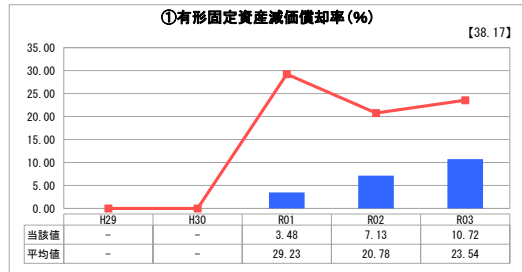
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,336	255.25	208.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
29,853	10.67	2,797.84

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経営の健全性について
 ①経常収支比率は前年度と比較して△2.55%減少しているものの、100%以上となっている。⑤経費回収率も前年度と比較して△0.78%減少しているものの平均値を上回っており、また、②累積欠損金もなく健全な経営状態にある。
 ③流動比率は平均値を下回っているが、これは公共下水道事業が保有する現金と比較して企業債の償還額が大きいためである。
 ④企業債残高対事業規模比率は平均値より上回っているものの、今後は建設当初に借入れた企業債の残高も減少し、それに伴い比率も減少する見込みである。衛生組合との共同化による汚泥処理施設が令和2年度から開始したことにより、⑦施設利用率は改善している。
 ○経営の効率性について
 ⑥汚水処理原価は前年度と比較して3.77円悪化しているが、これは、R2年度から汚泥資源化システムが開始し、それに伴う減価償却費が増加したことによる。
 ⑧水洗化率は全国平均を上回っており、引き続き継続投資を行うこととする。
 以上より、経営は改善しているが、企業債残高が高く、企業債に対する支払利息が負担になっており、経営を圧迫していることから、新たな企業債の発行を抑えるなど企業努力を行っていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②管渠経年率、③管渠更新率ともに平均値を下回っている。今後はストックマネジメント計画に基づき、長寿命化を図りつつ計画的に施設の更新を実施する。

全体総括

現状では、経営の健全性・効率性が保たれているものの、使用料収入に対し、地方債償還金が大幅に上回るなど経営経費の削減だけでは改善できない状況となっている。
 さらに、人口減少に伴い使用料の大幅な増加が見込まれない状況のなか、老朽化による更新経費の増大が見込まれる。
 今後は、ストックマネジメント計画による長寿命化を視野に入れた施設の更新を行い、かつ、経営指標を活用し分析、改善に努めながら将来にわたり安定した事業の継続が必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。